

B+COM SB6XR

取付マニュアル / クイックマニュアル

セット内容

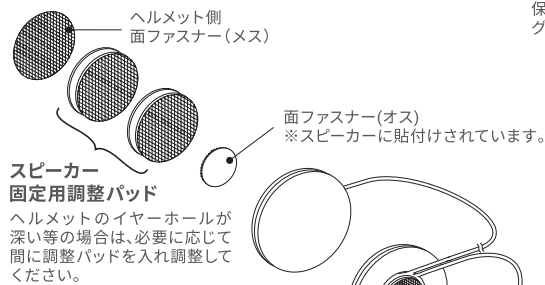
製品パッケージには以下のパーツが同梱されています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一、不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。
※()内は「ペアユニット」にセットされている数量です。

- SB6XR 本体ユニット ×1台(2台)
- アームマイク ×1本(2本)
- ワイヤーマイク ×1本(2本)
- マイクレスキャップ ×1個(2個)
※本体に装着梱包
- アームマイク用スポンジ ×1個(2個)
- ワイヤーマイク用スポンジ ×1個(2個)
- スピーカー固定用調整パッド ×4枚(8枚)
- スピーカー固定用面ファスナー ×オス・メス各2枚(オス・メス各4枚)
※オスはスピーカーに貼付けされています。
- ユーザーズマニュアル(保証書付帯) ×1部
- クイックマニュアル(本書) ×1部
- USB Type-Cケーブル ×1本(2本)
- ベースプレート ×1個(2個)
- ワイヤークリップ ×1個(2個)
- ベース用保護ラバー ×1枚(2枚)
- ベース用面ファスナー(オス・メス) ×1枚(2枚)
- ヘルメットスピーカー ×1個(2個)

B+COM SB6XRの構成

スピーカー固定用面ファスナー

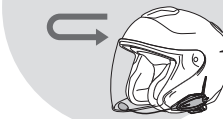
スピーカーをヘルメットに固定します。外面が接着シート、内面がファスナーなので、スピーカーの取外しが簡単です。



ヘルメットスピーカー-L/R

薄型、高音質スピーカーです。

ヘルメットへの取付け手順は裏面をご覧ください。



お使いのヘルメットにあわせて、どちらかの方法でお取付けください。

ワイヤークリップを使用

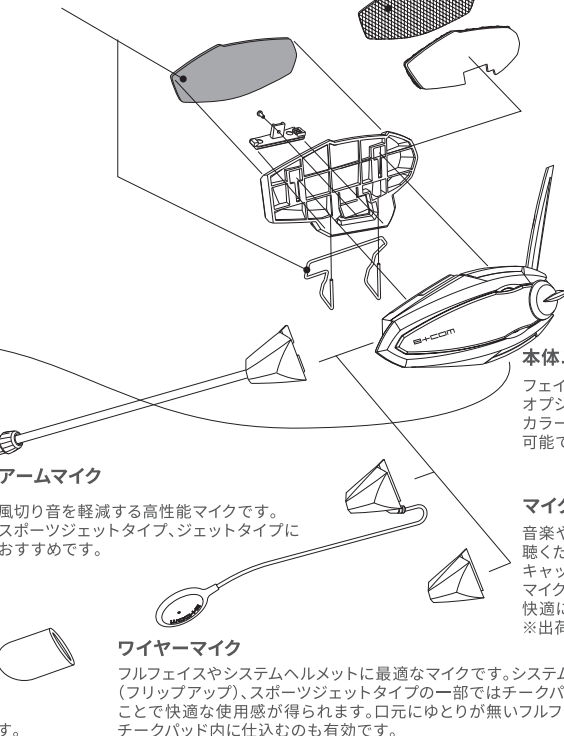
ワイヤークリップ&保護ラバー

ヘルメットの帽体に挟み込んで固定します。高い固定力とフィット感に優れています。保護ラバーはヘルメットへの傷つき防止と、グリップ力を高めます。

貼付けて使用

ベース用面ファスナー

外面が接着シート、内面がファスナーなので、ベースの取外しが可能です。



本体ユニット
フェイスプレートはオプションでお好みのカラーに着せ替えが可能です。

マイクレスキャップ
音楽やナビの音声などを聴くだけの時、マイクレスキャップを使用すればマイクが邪魔にならず快適に音声を聴けます。
※出荷時に本体装着

アームマイク

アームマイク用スポンジ

マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。

風切り音を軽減する高性能マイクです。スポーツジェットタイプ、ジェットタイプに おすすめです。

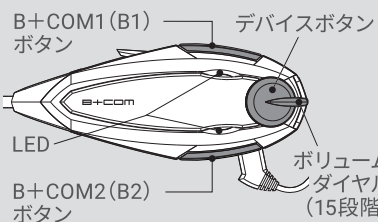
ワイヤーマイク用スポンジ

フルフェイスの口元にマイクを設置する場合は必ず使用します。スポンジを口元に貼付け、スポンジのポケットにマイクを挿入する事で物理的に風切り音を軽減します。

ワイヤーマイク

フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。システムタイプ(フリップアップ)、スポーツジェットタイプの一部ではチェックパッド内に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェイスの場合もチェックパッド内に仕込むのも有効です。

使用方法



STEP 1 電源を入れてみよう

▲ご使用前には必ず充電してください。長期間使用しなかった場合、デバイスボタンが一時的に硬くなる場合があります。

電源ON	電池残量通知	スタンバイ	電源OFF
<p>押したまま 上へ 1秒間 回す</p> <p>LED 青 1秒間点灯 サウンド ビーコム起動</p>	<p>LED 80%以上…青 1秒間点灯 50%以上…紫 1秒間点灯 30%未満…赤 1秒間点灯 要充電…赤 2回点滅</p> <p>サウンド 電池残量〇〇% 充電してください(要充電の場合)</p>	<p>LED 青 点滅</p>	<p>押したまま 下へ 1秒間 回す</p> <p>LED 赤 1秒間点灯 サウンド ビーコム終了します</p>

STEP 2 スマートフォンと接続して音楽や電話を試みよう

I B+COMとスマートフォンをペアリング(初期登録)する。

デバイスとの接続をしない方はSTEP3へお進みください ▲

- 電源OFFを確認
- 電源ON: 押したまま 上へ 4秒間 回す
LED 青+赤 高速点滅
サウンド 「ビーコム起動」「デバイス1ペアリング…」
- スマートフォンの操作
iPhoneの例
設定▶Bluetooth▶ON
「その他のデバイス」等のリスト [B+COM6R V〇.〇] を選択
「自分のデバイス」等のリスト [B+COM6R V〇.〇] が「接続済み」
- B+COMの表示
LED 青 ゆっくり点滅
サウンド 「デバイス1接続」
完了です。

一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

II 音楽やラジオ(アプリ)、ナビ音声案内を聴く。

スマートフォンの操作	音量調整	再生/一時停止	曲の頭出し/スキップ
<p>音楽プレーヤー ラジオアプリ ナビアプリ</p> <p>アプリを起動し再生します。</p>	<p>ボリュームダイヤル 上に1回 上がる 下に1回 下がる</p>	<p>再生/一時停止 デバイスボタン 押すごとに</p>	<p>スキップ 頭出し ボリュームダイヤル 上に1秒間 下に1秒間</p>

※AVRCP機能があるデバイス・アプリのみ対応。

III ハンズフリーで通話する。

着信/通話	リダイヤル発信
<p>音楽再生中は曲が停止し、着信音が鳴ります。</p> <p>デバイスボタン 1回押すと電話に回答 通話中に1回押すと終話 ※音量調整はIIと同じ操作</p>	<p>最後の発信履歴へリダイヤル発信可能です。</p> <p>デバイスボタン 3秒間長押し サウンド リダイヤル</p>

IV Siri等の音声認識機能を起動する。

デバイスボタン 2回押す

●II~IVは、Bluetooth接続した状態で可能な操作となります。ペアリング後、電源OFFした場合は、B+COMを起動してオートコネクで再接続を確認してください。スマートフォン側でBluetoothをOFFにした場合は、ONにして登録済みの[B+COM6R V〇.〇]を選択して接続を行ってください。

STEP 3 B+COM同士で通話してみよう

☑ B+LINK™

B+LINK対応機種同士のB+LINK通話の場合

- B+LINK対応機種同士を最大6台で同時にペアリング(初期登録)する。
① みんなで近くに集まり電源ONを確認
LED 青 点滅
② みんなで B1とB2を同時に 3秒間長押し
LED 緑 高速点滅
サウンド B+LINKグループ登録
③ 誰か一人 B1とB2を同時に 1回押す
LED 緑 点灯
サウンド サーチ開始
④ 30秒程度待つ 自動で会話が 始まれば完了
LED 緑 ゆっくり点滅
サウンド B+LINK開始
- ペアリング済みのB+LINK対応機種でB+LINKグループ通話する。
① 電源をオンにしアンテナを立てる
LED 緑 点灯
サウンド ポンッポーン(呼出音)
② 誰か一人 B1とB2を同時に 1回押す
LED 緑 ゆっくり点滅
サウンド B+LINK開始
③ 自動で会話が 始まれば完了
LED 青 点滅
サウンド B+LINK終了

そのほかのバイクインカムと通話する場合 ※他社インカムとの動作・通話品質の保証はいたしておりません。

B+LINK対応機種以外のバイクインカムと通話する場合は、ユニバーサルインターコール・レシーブ機能を使用します。

ペアリング方法

- SB6XR 電源ONの状態 で B2ボタンを長押し
LED 赤 点滅
サウンド B+COM2 ペアリング
- 接続相手のインカム 「ユニバーサル インターコール」の 操作を行う
※各インカムの取扱説明書をご参照ください
- 自動で会話が 始まれば完了
LED 青 ゆっくり点滅
サウンド B+COM2 接続

会話が始められない場合
SB6XRを再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で「登録済みインカムを呼び出す」操作を行ってください。

※同じ手順で、SB6XRのB1ボタンにもペアリング情報を登録可能です。ただし、B+LINK登録情報がすでに存在する場合は、B1ボタンへの登録はできません。リセットモードでB+LINK登録情報を消去してからペアリングを行ってください。
※PC/スマートフォンアプリから設定できるSB6XRの「ユニバーサルインターコール」は、基本的に「オフ(初期設定)」にしてください。接続相手のバイクインカムがユニバーサル接続機能を持たない場合のみ、「オン」に変更してください。

くわしい解説&操作動画

過去モデルのB+COMや、他社製インカムとの接続に使用するユニバーサル接続機能について、サイン・ハウスWEBでご紹介しています。

<http://sygnhouse.jp/products/bcom/tips/universal/>

取付け手順

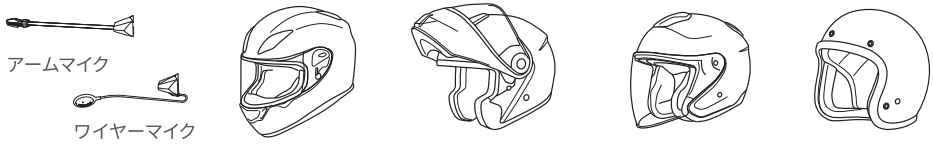
B+COM SB6XRの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼り付けるパーツは、取付け位置を仮決めて、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に挟んでください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

STEP 1 ヘルメットに合うマイクと、取付け手順を確認しよう

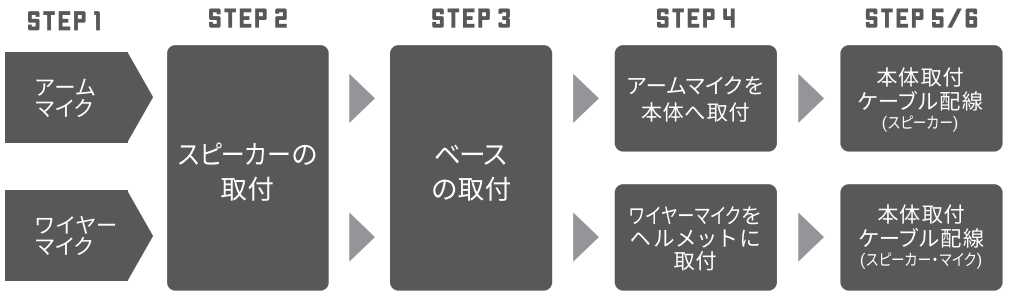
I ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。



	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○*	○*	×

*B+COM ワイヤーマイクホルダー(別売)を使用した場合

II マイクの種類に合わせて順番に取付けます。



STEP 2 スピーカーを取付けよう

イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI社製、ジェットタイプなど)

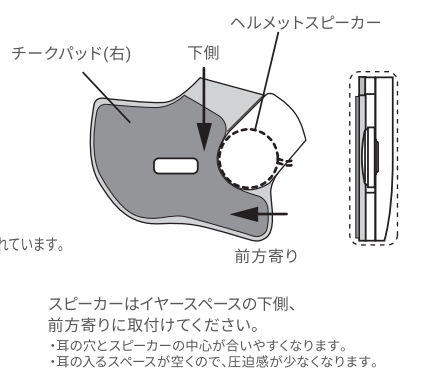
面ファスナーをスピーカー設置場所のヘルメット面にメス側、スピーカーの裏面にオス側を貼付けスピーカーを固定します。



※左側のスピーカーも同様に取付けてください。
●調整パッド
耳とスピーカーの隙間が大きい場合、必要に応じて挟んでください。(付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、市販の調整しやすいものを追加し、装着してください。)

チークパッド(システムパッド)のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。



スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取付けてください。
・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
・耳の入るスペースが空くので、圧迫感が少なくなります。

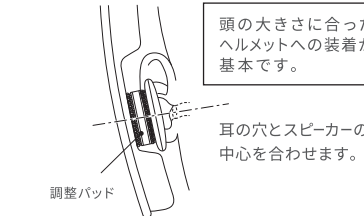
※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向にあります。また、フルフェイスタイプであってもシールドやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

重要 POINT

取付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

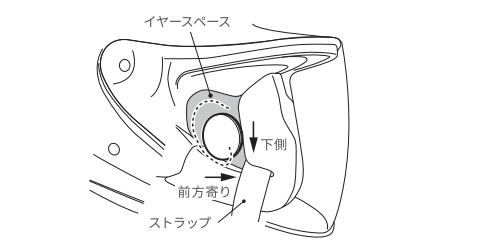
スピーカー単体を耳にあてて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。



- 隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取付けてください。



- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりにくくなります。

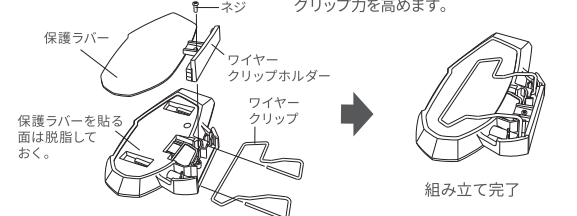
STEP 3 ベースを取付けよう

組立には精密ドライバーNo.1が必要になります。

ベースの取付方法は2種類あります。ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置になるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めてください。

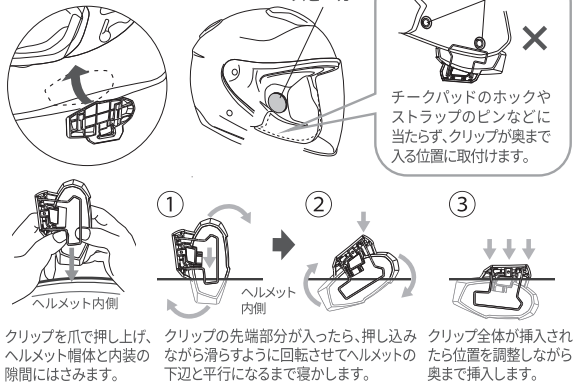
ワイヤークリップを使用

●ワイヤークリップの組立て

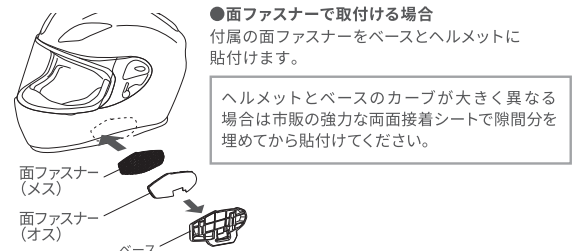


- ①+の精密ドライバーNo.1でネジ、ワイヤークリップホルダーを外します。
- ②保護ラバーの剥離紙をはがして貼付けます。③ワイヤークリップをはめ込みます。
- ④外したワイヤークリップホルダーを取付けます。⑤ネジで確実に固定します。

●ワイヤークリップの取付け



貼付けて使用



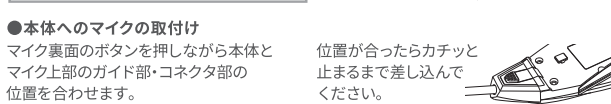
- ▲貼付けする面は必ず脱脂を行ってください。
- ▲貼付け後、約24時間保管しご使用ください。

STEP 4 マイクを取付けよう

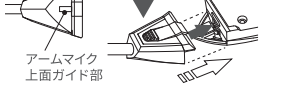
アームマイク

●マイクスポンジの取付け

マイクスポンジは必ず装着してください

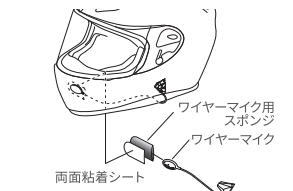


●本体へのマイクの取付け

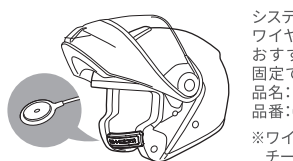


ワイヤーマイク

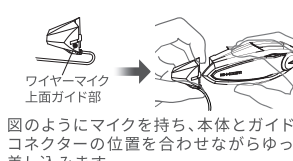
●マイクスポンジの取付け



●システムヘルメットまたは、ジェットヘルメットの場合



●本体へのマイクの取付け



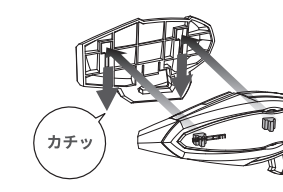
マイクについての注意点

- マイク用スポンジは必ず使用してください。物理的に風切り音を軽減します。
- マイクは、シールドの中に入るよう淵から離し、図のように口元に位置を合わせます。口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

STEP 5 本体を取付けよう

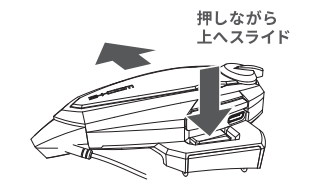
●本体ユニットのベースへの取付け

本体裏側の突起をベースの穴に合わせて押し込み、ベースプレートのツメを押してロックを解除しながら止まるまで下にスライドさせます。(カチッと止まるまで下げます。)



●本体ユニットからベースの取外し

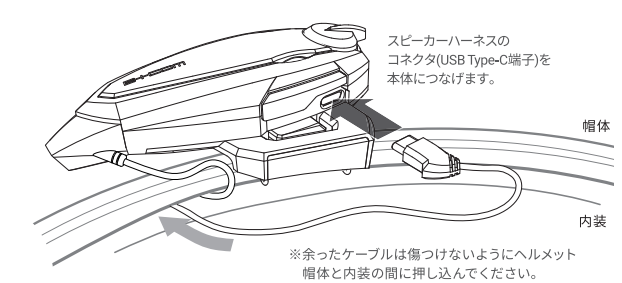
ベースプレートのツメを押してロックを解除しながら上へゆっくりと平行に引き抜きます。



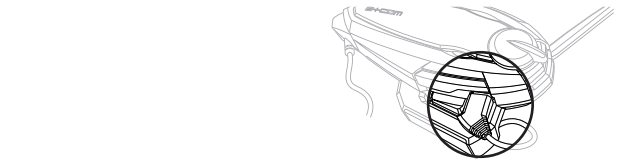
▲本体ユニットをベースプレートへ取付ける際は、カチッと音がしてロックがかかるまで、確実に奥へスライドしてください。ロックがかかっていないと、脱落の恐れがあります。

STEP 6 ケーブルを配線しよう

●ケーブル(ワイヤー)の接続



●ケーブルの配線



●コネクタの差し込み方向

▲ケーブルの、折り曲げ、引っ張り厳禁!

それでもわからない場合は! サイン・ハウスカスタマーサポートをご利用ください!

お電話で 044-400-1979
WEBで sygnhouse.jp

